

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成26年9月4日 (2014.9.4)

【公開番号】特開2013-97229(P2013-97229A)  
 【公開日】平成25年5月20日 (2013.5.20)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-025  
 【出願番号】特願2011-240920(P2011-240920)  
 【国際特許分類】

G 0 3 B 21/14 (2006.01)  
 G 0 3 B 21/00 (2006.01)  
 G 0 2 F 1/13 (2006.01)  
 G 0 2 F 1/13357 (2006.01)  
 H 0 4 N 5/74 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 B 21/14 Z  
 G 0 3 B 21/00 D  
 G 0 2 F 1/13 5 0 5  
 G 0 2 F 1/13357  
 H 0 4 N 5/74 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成26年7月16日 (2014.7.16)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 5 6  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【 0 0 5 6 】

本実施形態では予め算出したルックアップテーブルを用いて第 1 光源 1 1 の出力を増加させる。このルックアップテーブルは、回転蛍光板の回転数が所定数に到達してからの経過時間と回転蛍光板 1 3 ( モーター 1 4 ) の回転数との関係を予め評価しておくことで作成されたものである。したがって、制御部 6 1 は、上記ルックアップテーブルを参照することで、回転蛍光板 1 3 の回転数が所定数に到達してからの経過時間に対応した回転蛍光板 1 3 の回転数に関する情報を取得する。ルックアップテーブルを用いれば、制御部 6 1 が回転蛍光板 1 3 ( モーター 1 4 ) の回転数を常に管理する必要が無く、回転蛍光板 1 3 の回転数が所定数に到達した時間のみを管理すればよくなるため、第 1 光源 1 1 の点灯後における制御部 6 1 の制御を簡略化できる。